

大雨被害対策に奮闘する江田島市きく産地

【平成30年8月2日掲載】

江田島市のきく産地である沖美町三吉地区では、需要の最盛期である盆をひかえた平成30年7月の豪雨により生活道が寸断され、断水が続いていたところへ、豪雨後の記録的な猛暑が加わり、かん水の不足によるきくの生育停滞や枯死が懸念されていました。

江田島市や関係者の努力により、生活道が確保され、また7月26日までに断水も解消したことから、きく栽培農家ではポンプや配管の復旧を進め、現在きく畑への畝間かん水を行っているところです。

ほとんどのきくが出荷不能となることが懸念されていましたが、農家の奮闘により、盆から彼岸向けのきくの出荷という見通しとなりました。

今後、当所では豪雨被害からの本格的な復旧や、干ばつ対策の取組みを積極的に支援していきます。



ポンプを使ったかん水状況



畝間かん水状況

情報提供元

西部農業技術指導所